

真宗大谷派名古屋別院（東別院）

2024  
8.1~8.5  
AM6:15~8:00



©NONAKA  
まみ

8月2日（金）  
石原真衣



8月1日（木）  
たかのてるこ

# 暁天

# 喜慶

於名古屋別院本堂

どなたでもご聴講いただけます  
パンと飲み物の配布があります

釈迦弥陀の  
みゆりをさがさる

蟬の声



8月3日（土）  
近藤俊太郎



8月4日（日）  
コウケンテツ



8月5日（月）  
加来雄之

はやおき鳥

集合：お茶所前

同日開催！



# 暁天講座

ご聴講の方には、  
パンと飲み物を進呈いたします。  
2日～4日に手話レッスンがあります。

## 8月1日(木) > 8月5日(月)

世界は、愛でできている  
～自分の全細胞が、  
毎日、自分自身を応援している！

8/1

たかのてるこ  
地球の広報・旅人・エッセイスト

「世界中どんな人も、ごはん食べてうんこして寝て、  
を繰り返しつつ、思い出を作り合ってるだけだよー！

大学の教え子の悩みから生まれた本『生きるって、なに？』上映や、旅映像を交えての話は笑いが絶えず、爆笑ライブのよう♪「人と比べず自分らしく生きるコツ」「短所を長所に変える秘訣」など盛り沢山！旅の経験をもとに「自分をほめちぎって、愛いっぱい生きよう！」と呼びかける講演は、全国で大人気♪

共に生きる世界のために  
——その批判と展望——

石原 真衣

北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授

共に生きるとはどういうことか。  
本講演では、多文化共生の課題と問題点を提示し、いかにまことの共生社会を実現できるかについてその展望を述べる。日本はジェンダー平等において悪名高く、最も多文化主義から遠いとされている。共に生きることがなぜかくも困難であるか、先住民の歴史と現状から照らし出してみたい。

100年前の浄土真宗

近藤 俊太郎

本願寺史料研究所・研究員

ちょうど100年前、宗門にとって重要な出来事がいくつも生じていました。それは立教開宗700年記念法要、全国水平社の創立や関東大震災、さらには親鸞ブームなどです。本講演は、そうした歴史を振り返りながら、それらがいかに現代の浄土真宗や日本社会に影響を及ぼし、私たちの現在地に連続しているのかを考えてみるものです。

キッチンからはじまる、人と人の絆  
～食を通して世界がつながる～

コウケンテツ

料理研究家

家族や子どもの健康は、日々の食事と、家庭からいかにストレスをなくすかが大切。といった内容を、データをもとにお話しします。また世界30カ国以上旅をし、さまざまな家庭に取材した経験から、性別、人種、宗教を超えて人と交流する大切さや、多様性を認め、お互いに理解し合える社会を目指すにはどうすればよいかを、楽しく分かりやすい言葉でお伝えさせていただきます。

危機の時代と真宗のリアリティ

加来 雄之

親鸞仏教センター主任研究員  
大谷大学名誉教授

現代の人間社会の矛盾と危機の中で、真宗という生き方はどのようなリアリティをもつのか。近代が抱えた危機を自覚的に引き受けることが「現代」と呼ばれる時代意識であるとするれば、安田理深(1900-1982)は確かに浄土真宗を「現代教学」として開顕することを課題とした。その試みがかつ意味をたずねてみたい。

暁天講座

場所：名古屋別院本堂

6時15分 勤行(正信偈同朋奉讃)  
6時35分 お話(70分程)  
8時頃 終了

はやおき鳥

集合：お茶所前(境内南側)

6時30分 ラジオ体操  
6時45分 お勤め稽古(正信偈同朋奉讃)  
7時20分 学習時間 夏休みの課題をやろう！  
8時 終了

8/1～8/5  
集まれ小学生

真宗大谷派名古屋別院(東別院)

〒460-0016 名古屋市中区橋下町2丁目8番55号 ☎052-321-9201

～お問合せ～

暁天講座 ☎052-331-9578

はやおき鳥 ☎052-331-9576

<https://www.ohigashi.net>

お東ネット

(敬称略)

